

この度、あしぎん景気動向調査(第 133 回あしぎん景況調査、第 72 回県内産業景気動向調査)の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 第 133 回あしぎん景況調査(栃木・群馬・茨城・埼玉の 4 県に本社または事業所を有する企業を抽出)

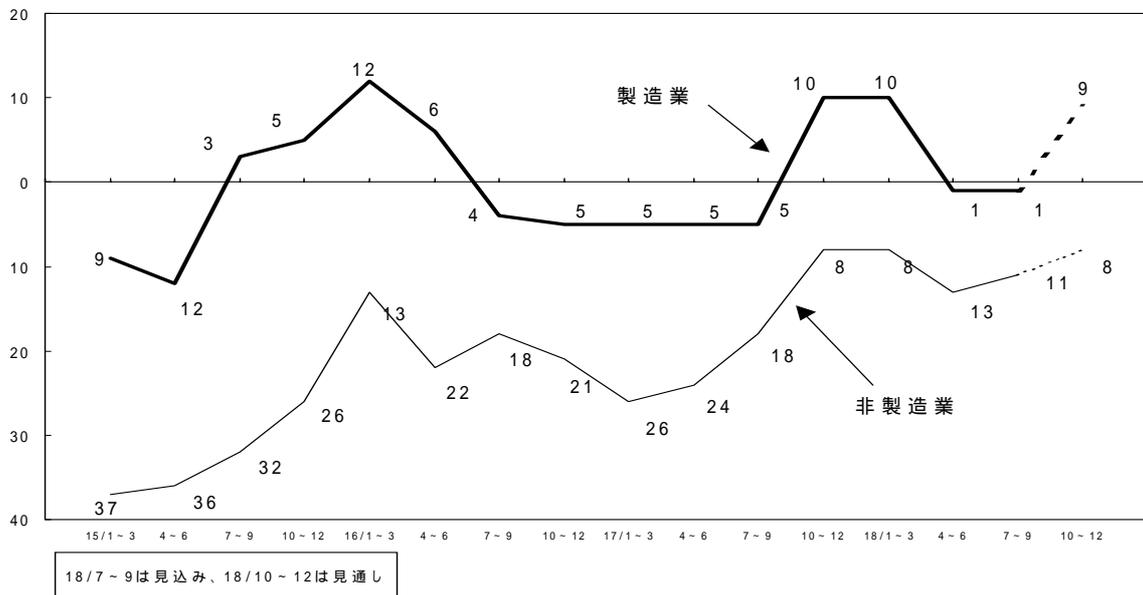
企業の景況感は、一部に持ち直しの動きがみられるものの回復のテンポが鈍化し、踊り場的な状況にある。

今期(18 年 7 ~ 9 月期)の業況判断 D.I. 値は、製造業が 1、非製造業が 11 となった。前期(18 年 4 ~ 6 月期)実績と比較して、製造業は同ポイントとなり、非製造業は 2 ポイント改善した。

来期(18 年 10 ~ 12 月期)は、今期に比べ製造業が 10 ポイント、非製造業が 3 ポイントそれぞれ改善する見通しである。

製造業では、足元の業況判断 D.I. 値は横ばいとなり、今期は 2 四半期連続で悪化企業超となるなど、景況感は踊り場的状況となっている。一方、非製造業では、売上などに回復の動きが見られるものの、依然として厳しい状態が続いている。

業況判断 D.I. 値



業界天気図

全 19 業種(リゾート旅館ホテルはサービスを含む)の内訳、上記数値は業種数、カッコ内は前期比

快晴の業種	晴れの業種	薄日の業種	曇りの業種	小雨の業種	雨の業種	大雨の業種
0 (0)	0 (- 1)	3 (1)	10 (- 1)	5 (+ 1)	1 (0)	0 (0)

本件に関するお問い合わせ先 : 与信統括室 石川 028-626-0443

(1) 概要

主要項目別の動き

製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込み(18年7~9月期)は 1と前期実績と同ポイントとなった。業種別にみると、繊維品、輸送用機械、窯業・土石など6業種が改善したものの、一般機械、化学品、その他製造業は横ばいとなり、紙・パルプ、鉄鋼・非鉄、精密機械など5業種が悪化した。

イ) 生産

生産D.I.値の今期見込みは12と前期実績と同ポイントとなった。

ウ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 1と前期実績を2ポイント上回った。

エ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは77%と前期実績を5ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは35と前期実績を4ポイント上回った。

非製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込みは 11と前期実績を2ポイント上回った。業種別にみると、建設、運輸は悪化したものの、サービスは横ばいとなり、小売、卸売が改善した。

イ) 売上

売上D.I.値の今期見込みは5と前期実績を7ポイント上回った。

ウ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 14と前期実績を4ポイント上回った。

エ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは58%と前期実績と7ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは36と前期実績を13ポイント下回った。

(2) 業界天気図の動き(19業種)

快晴(業況判断D.I.値41以上)

「快晴」は0業種で前期実績と同数となった。

晴れ(業況判断D.I.値26~40)

「晴れ」は0種で前期実績と比べ1業種減少した。

薄日(業況判断D.I.値11~25)

「薄日」は3業種で前期実績と比べ1業種増加した。

曇り(業況判断D.I.値10~10)

「曇り」は10業種で前期実績と比べ1業種減少した。

小雨(業況判断D.I.値11~25)

「小雨」は5業種で前期実績と比べ1業種増加した。

雨(業況判断D.I.値26~40)

「雨」は1業種で前期実績と同数となった。

大雨(業況判断D.I.値41以下)

「大雨」は0業種で前期実績と同数となった。

業界天気図

(単位:ポイント)

業種	実績 18/4~6	見込み 18/7~9	見通し 18/10~12	実績 18/4~6	変化方向	見込み 18/7~9	変化方向	見通し 18/10~12
製造業	1	1	9		→		→	
飲・食料品	6	8	17		→		↗	
繊維品	24	12	0		→		↗	
木材・木製品	39	31	23		→		↗	
紙・パルプ	0	22	33		↘		↘	
化学品	20	20	40		→		↗	
プラスチック	5	10	10		→		→	
窯業・土石	8	0	23		→		↗	
鉄鋼・非鉄	5	5	10		→		→	
金属製品	9	6	18		→		↗	
一般機械	9	9	17		→		↘	
電気機械	3	5	8		→		→	
輸送用機械	15	23	15		→		→	
精密機械	29	21	36		↘		↗	
その他	6	6	19		→		↗	

業種	実績 18/4~6	見込み 18/7~9	見通し 18/10~12	実績 18/4~6	変化方向	見込み 18/7~9	変化方向	見通し 18/10~12
非製造業	13	11	8		→		↗	
建設	11	15	12		→		→	
卸売	13	5	16		↗		↘	
小売	24	14	10		→		↗	
運輸	10	13	3		↘		↗	
サービス	10	10	1		→		→	
旅館ホテル	31	39	39		→		→	

* 天気図の説明

(数字は業況判断DI値)

快晴	晴れ	薄日	曇り	小雨	雨	大雨
41以上	26~40	11~25	10~10	11~25	26~40	41以下

2. 第72回県内産業景気動向調査(「あしぎん景況調査」の対象企業のうち、栃木県内に本社または事業所を有する企業を抽出)

県内企業の景況感は、一部に持ち直しの動きが見られるものの回復のテンポが鈍化し、踊り場な状況にある。

今期(18年7~9月期)の業況判断D.I.値は、製造業が4、非製造業が11となった。前期(18年4~6月期)に比べ、製造業が1ポイント、非製造業が5ポイントそれぞれ改善した。

来期(18年10~12月期)は今期に比べ、製造業が12ポイント、非製造業が1ポイント、ともに改善する見通しである。

製造業では、業況判断D.I.値が前期実績をやや上回ったものの、2四半期連続で悪化企業超となるなど、景況感は踊り場的な状況にある。一方、非製造業では、売上などに回復の動きが見られるものの、悪化企業超が続くなど厳しい状況が続いている。

業況判断D.I.値

